

佐渡博物館が

立市佐渡博物館として再オープン

平成26年4月1日、佐渡博物館が市立として再オープンしました。

昭和32年9月1日に開館して以来56年間、佐渡の地質、考古、歴史、民俗、芸能、動植物、美術、産業に関する展示を充実させてきました。

今後は、「世界農業遺産(GIAHS・シラス)」、日本ジオパークに認定された「佐渡ジオパーク」、日本の世界遺産暫定リストに記載された「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の3つ

の遺産を島内外に発信する基地として、また、佐渡の自然、歴史、文化の調査研究、保存、公開を進め、子どもたちをはじめ市民の皆さんが佐渡学を学べる総合博物館として、生まれ変わりました。

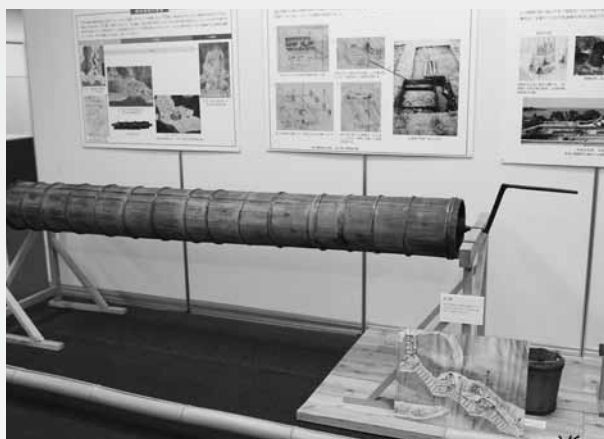
開館時間 午前8時30分～午後5時
休館日 年末・年始
入館料 大人500円
小・中学生200円

お問い合わせ

佐渡博物館(八幡2041番地)
☎52-2447

主な収蔵品

- ・土田麦僊下絵・素描・写生帳 533点
- ・近藤福雄ガラス乾板 約8000枚
- ・考古学資料 約1300点
- ・民俗資料 約1500点
- ・自然科学資料(岩石、化石、貝標本、昆虫標本、他) 多数
- ・古美術、近代美術資料 約780点
- ・その他(芸能資料、産業資料、建造物、写真、レコード等)



坑道の湧水を排水するための水上輪



佐渡金銀山展示室



佐渡の3つの遺産



新種として認定されたサドガエル

1階 佐渡金銀山展示室、ホール